



臨床試験入門セミナー

#3 これだけは知っておきたい！
生物統計と臨床研究の基本

JKiCでは、臨床研究に関わった経験がない慶應およびJSR(株)研究者向けの「臨床試験入門」セミナーシリーズを企画しました。「使われている単語の意味すら分からない」という初心者が、臨床試験の流れを具体的にイメージできるようになることを目的とした計5回のセミナーです。また、いろいろな疑問について気軽に質問できる場としたいと考えています。JKiC外の方でもご興味をお持ちの場合は、お気軽にご参加ください。



【日時】 2018年12月20日(木)

18:00～19:30

【場所】 JKiC棟1階 会議室

【講師】 佐藤 泰憲 先生

臨床研究推進センター 生物統計部門長

【対象】 慶應研究者・JSR(株)研究者・一般

主催: JSR・慶應義塾大学医学化学イノベーションセンター(JKiC)

共催: 慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター

初心者向け
参加無料

【講演要旨】

医学、健康科学領域において、根拠に基づく医療（EBM）という考えが普及し、根拠なるものは、統計的データとして表される。臨床研究などで集められたデータには、バラツキが必ず存在するため、バラツキを小さくする工夫や効率的にデータを集める方法を研究計画段階から吟味する必要がある。本セミナーでは、臨床研究データを正しく評価する上で役に立つと思われる、生物統計学の概念、原理とその使い方について解説する。また、臨床研究でよく用いられる統計手法の現状分析結果を紹介し、統計手法の変遷、臨床研究の統計の質を高め、適正化するための方法について考察し、提言を行う。